

多目的臨床データ登録システム (MCDRS) チュートリアル 応用編

チュートリアル応用編の概要

チュートリアル応用編では「テーブル型項目の作成」、「カスタム演算（在院日数、検査時の年齢）」について手順を説明します。

チュートリアルで作成する症例入力画面

テーブル型項目

「入院日」、「退院日」から「在院日数」を算出

「誕生日」、「検査日」から検査日の「年齢」を算出

テーブル型の項目を作成する

テーブル型で項目:検査(「検査日付」,「検査項目名」,「検査値」)を作成します。

既にグループが登録されている場合は2.へ

1. グループ作成をクリックします。

◎作成中
→作成済
→運用中
→運用停止中

症例入力登録画面 症例入力画面の作成を行います。
1. 最初にグループ作成で入力項目を作成します。
2. その後、タブ設定でレイアウトを定義します。

グループ作成 タブ設定 リスト表示設定 画面削除

*画面名称	新しい症例入力画面
画面説明	
*SS-MIX2データ取得名	SS-MIX2データ取得
検索用タグ (,で区切って入力)	
検索結果リスト表示項目	
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 作成中 <input type="radio"/> 作成済 <input type="radio"/> 運用中 <input type="radio"/> 運用停止中

自動計算項目 関連項目チェック 匿名化項目 重複警告項目 SS-MIX2連携項目 適用

戻る

2. 項目追加をクリックします。

入力項目グループ作成・編集画面 症例入力画面に設定する入力項目グループを作成します。

症例入力画面名称 新しい症例入力画面

グループ削除 **項目追加** 登録

*入力項目グループ名称	新しい入力項目グループ	グループの初期表示	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない
*フォローアップ・サブ画面	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する	日付・回数の管理	<input type="checkbox"/> 日付・回数管理をする
フォローアップ・サブ画面ボタンラベル	子画面を開く	フォローアップ日付	<input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 日付時刻
グループの背景色	#ffff99 例: 	グループ名称の文字色	#000000 例:
項目の背景色	#f3f7fc 例: 	項目名称の文字色	#000000 例:

戻る

テーブル型の項目を作成する

3. 各入力項目を入力します。

項目名称 : 検査
データ型 : テーブル型

4. 追加をクリックします。

入力項目設定画面 症例入力画面に設定するグループに紐づく入力項目の設定を行います。

戻る

入力項目グループ名称	新しい入力項目グループ
*項目名称	検査
画面表示名	
*項目ID	Item001
説明文	
説明の参照 (URL、PDF等)	<input type="text"/> 参照
非登録項目の有無	<input type="checkbox"/> 非登録項目にする
コピー不可の有無	<input type="checkbox"/> フォローアップ時コピー不可にする
データ日付管理の有無	<input type="checkbox"/> データ日付管理をする
データ型	テーブル型
追加	

項目名	データ型	順番	編集・削除
-----	------	----	-------

登録

5. 各入力項目を入力します。

項目名称 : 検査日付
データ型 : 日付型
入力タイプ : 単一入力
入力範囲 : 年月日
カレンダー表示 : チェックを入れます
フォーマット : YYYYMMDD

6. 登録をクリックします。

戻る

グループ名称	新しい入力項目グループ
テーブル型項目名称	検査
*項目名称	検査日付
画面表示名	
*項目ID	7c77e1b2cc01
表示設定	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する
データ型	日付型
入力タイプ	単一入力
入力範囲	年月日
カレンダー表示	<input checked="" type="checkbox"/> 年月日をカレンダーから選択する
年指定	西暦 <input type="checkbox"/> 年ラベル表示
幅	<input type="text"/> px
フォーマット	YYYYMMDD
入力制限	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 過去日禁止 <input type="checkbox"/> 未来日禁止 入力範囲: <input type="text"/> ~ <input type="text"/> 正規表現: <input type="text"/>

登録

テーブル型の項目を作成する

7. 項目「検査日付」が登録されていることを確認します。

8. 追加をクリックします。

入力項目設定画面 症例入力画面に設定するグループに紐づく入力項目の設定を行います。

戻る

入力項目グループ名称	新しい入力項目グループ		
*項目名称	検査		
画面表示名			
*項目ID	Item001		
説明文			
説明の参照 (URL、PDF等)	<input type="text"/> 参照		
非登録項目の有無	<input type="checkbox"/> 非登録項目にする		
コピー不可の有無	<input type="checkbox"/> フォローアップ時コピー不可にする		
データ日付管理の有無	<input type="checkbox"/> データ日付管理をする		
データ型	テーブル型 ▼		

サンプル表示

項目名	データ型	順番	編集・削除
検査日付	日付型	▲ ▼	編集 削除不可

追加

登録

戻る

9. 各入力項目を入力します。

項目名称 : 検査項目名
データ型 : 文字列型

10. 登録をクリックします。

テーブル型設定画面 テーブル型の項目を設定します。

戻る

グループ名称	新しい入力項目グループ		
テーブル型項目名称	検査		
*項目名称	検査項目名		
画面表示名			
*外部項目ID	Tc77e1b2cC02		
表示設定	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する		
データ型	文字列型 ▼		

サンプル表示

最大文字数	<input type="text"/>	最小文字数	<input type="text"/>
幅	<input type="text"/> px	行数	<input type="text"/>
入力制限	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 半角 <input type="checkbox"/> 全角 <input type="checkbox"/> カナ <input type="checkbox"/> 英字 <input type="checkbox"/> 数字		
正規表現 <input type="text"/>			

登録

戻る

テーブル型の項目を作成する

11. 項目「検査項目名」が登録されていることを確認します。

12. 追加をクリックします。

入力項目設定画面 症例入力画面に設定するグループに紐づく入力項目の設定を行います。

戻る

入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*項目名称 検査 x

画面表示名

*項目ID item001

説明文

説明の参照 (URL, PDF等) 参照

非登録項目の有無 ☐ 非登録項目にする

コピー不可の有無 ☐ フォローアップ時コピー不可にする

データ日付管理の有無 ☐ データ日付管理をする

データ型 データ型

追加

項目名	データ型	順番	編集・削除
検査日付	日付型	▲ ▼	編集 削除
検査項目名	文字列型	▲ ▼	編集 削除

登録

戻る

13. 各入力項目を入力します。

項目名称 : 検査値
データ型 : 文字列型

14. 登録をクリックします。

テーブル型設定画面 テーブル型の項目を設定します。

戻る

グループ名称 新しい入力項目グループ

テーブル型項目名称 検査

*列項目名称 検査値

画面表示名

*列項目ID Ttc77e1b2cC03

表示設定 ☒ 表示する

データ型 文字列型

最大文字数 最小文字数

幅 px 行数

入力制限 ☐ 必須 ☐ 半角 ☐ 全角 ☐ カナ ☐ 英字 ☐ 数字

正規表現

登録

戻る

テーブル型の項目を作成する

15. 項目「検査値」が登録されていることを確認します。

16. 登録をクリックします。

入力項目設定画面 症例入力画面に設定するグループに紐づく入力項目の設定を行います。

戻る

入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*項目名称 検査 x

画面表示名

*項目ID Item001

説明文

説明の参照 (URL, PDF等) 参照

非登録項目の有無 ☐ 非登録項目にする

コピー不可の有無 ☐ フォローアップ時コピー不可にする

データ日付管理の有無 ☐ データ日付管理をする

データ型 テーブル型 ▼

追加

項目名	データ型	順番	編集・削除	
検査日付	日付型	▲ ▼	編集	削除
検査項目名	文字列型	▲ ▼	編集	削除
検査値	文字列型	▲ ▼	編集	削除

サンプル表示

登録

戻る

17. データ型「テーブル型」の項目があることを確認します。

18. 登録をクリックします。

入力項目グループ作成・編集画面 症例入力画面に設定する入力項目グループを作成します。

症例入力画面名称 新しい症例入力画面

グループ削除 項目追加 登録

*入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*フォローアップ・サブ画面 ☒ しない ☐ する

フォローアップ・サブ画面ボタンラベル 子画面を開く

グループの背景色 #ffff99 例:

項目の背景色 #f3f7fc 例:

グループの初期表示 ☒ 表示する ☐ 表示しない

日付・回数管理 ☐ 日付・回数管理をする

フォローアップ日付 ☒ 日付 ☐ 日付時刻

グループ名称の文字色 #000000 例: ■

項目名称の文字色 #000000 例: ■

順番	項目名	データ型	入力規則	並び順	表示	削除	編集
1	検査	テーブル型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集

戻る

在院日数を算出する

入力項目「入院日」と「退院日」を日付型で作成します。
出力項目「在院日数」を文字列型または単位付き項目型で作成します。

既にグループが登録されている場合は2.へ

1. グループ作成をクリックします。

◎作成中
- 作成済
- 運用中
- 運用停止中

症例入力登録画面 症例入力画面の作成を行います。
1. 最初にグループ作成で入力項目を作成します。
2. その後、タブ設定でレイアウトを定義します。

グループ作成 **タブ設定** **リスト表示設定** **画面削除**

*画面名称	新しい症例入力画面
画面説明	
*SS-MIX2データ取得名	SS-MIX2データ取得
検索用タグ (,で区切って入力)	
検索結果リスト表示項目	
ステータス	◎作成中 ○作成済 ○運用中 ○運用停止中

自動計算項目 関連項目チェック 匿名化項目 重複警告項目 SS-MIX2連携項目 適用

戻る

2. 項目追加をクリックします。

入力項目グループ作成・編集画面 症例入力画面に設定する入力項目グループを作成します。

症例入力画面名称 新しい症例入力画面

グループ削除 **項目追加** **登録**

*入力項目グループ名称	新しい入力項目グループ	グループの初期表示	◎表示する ○表示しない
*フォローアップ・サブ画面	◎しない ○する	日付・回数の管理	□日付・回数管理をする
フォローアップ・サブ画面ボタンラベル	子画面を開く	フォローアップ日付	◎日付 ○日付時刻
グループの背景色	#fff99 例: 	グループ名称の文字色	#000000 例:
項目の背景色	#f3f7fc 例: 	項目名称の文字色	#000000 例:

戻る

在院日数を算出する

3. 各入力項目を入力して、登録をクリックします。

項目名称 : 入院日
 データ型 : 日付型
 入力タイプ : 年月日別
 入力範囲 : 年月日
 カレンダー表示 : チェックを入れます
 年指定 : 西暦
 年ラベル表示 : チェックを入れます

4. 登録をクリックします。

入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*項目名称 入院日

画面表示名

*項目ID item001

説明文

説明の参照 (URL、PDF等) 参照

非登録項目の有無 ☐ 非登録項目にする

コピー不可の有無 ☐ フォローアップ時コピー不可にする

データ日付管理の有無 ☐ データ日付管理をする

データ型 日付型

入力タイプ 年月日別 入力範囲 年月日

カレンダー表示 ☒ 年月日をカレンダーから選択する

初期表示 ☐ 現在日時を設定する

年指定 西暦 ☒ 年ラベル表示

入力制限 ☐ 必須
☐ 過去日禁止
☐ 未来日禁止
 入力範囲: ~
 正規表現

サンプル表示
 西暦 年 月 日

登録

戻る

5. 項目追加をクリックします。

グループ削除 項目追加 登録

*入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*フォローアップ・サブ画面 ☒ しない ☐ する

フォローアップ・サブ画面ボタンラベル 子画面を開く

グループの背景色 #ffff99 例:

項目の背景色 #f3f7fc 例:

グループの初期表示 ☒ 表示する ☐ 表示しない

日付・回数管理 ☐ 日付・回数管理をする

フォローアップ日付 ☒ 日付 ☐ 日付時刻

グループ名称の文字色 #000000 例:

項目名称の文字色 #000000 例:

項番	項目名	データ型	入力規則	並び順	表示	削除	編集
1	入院日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集

戻る

在院日数を算出する

6. 各入力項目を入力して、登録をクリックします。

項目名称 : 退院日
 データ型 : 日付型
 入力タイプ : 年月日別
 入力範囲 : 年月日
 カレンダー表示 : チェックを入れます
 年指定 : 西暦
 年ラベル表示 : チェックを入れます

入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*項目名称 退院日

画面表示名

*項目ID Item002

説明文

説明の参照 (URL、PDF等) 参照

非登録項目の有無 ☐ 非登録項目にする

コピー不可の有無 ☐ フォローアップ時コピー不可にする

データ日付管理の有無 ☐ データ日付管理をする

データ型 日付型

入力タイプ 年月日別 入力範囲 年月日

カレンダー表示 ☒ 年月日をカレンダーから選択する

初期表示 ☐ 現在日時を設定する

年指定 西暦 ☒ 年ラベル表示

入力制限 ☐ 必須 ☐ 過去日禁止 ☐ 未来日禁止 入力範囲: ~ 正規表現

サンプル表示 西暦 年 月 日

登録

戻る

7. 登録をクリックします。

8. 項目追加をクリックします。

グループ削除 項目追加 登録

*入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*フォローアップ・サブ画面 ☒ しない ☐ する

フォローアップ・サブ画面ボタンラベル 子画面を開く

グループの背景色 #ffff99 例:

項目の背景色 #f3f7fc 例:

グループの初期表示 ☒ 表示する ☐ 表示しない

日付・回数の管理 ☐ 日付・回数管理をする

フォローアップ日付 ☒ 日付 ☐ 日付時刻

グループ名称の文字色 #000000 例:

項目名称の文字色 #000000 例:

項番	項目名	データ型	入力規則	並び順	表示	削除	編集
1	入院日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集
2	退院日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集

戻る

在院日数を算出する

9. 各入力項目を入力して、登録をクリックします。

項目名称 : 在院日数
データ型 : 文字列型(単位付き数値型<単位:日>も可)

10. 登録をクリックします。

入力項目グループ名称: 新しい入力項目グループ

*項目名称: 在院日数

画面表示名:

*項目ID: Item003

説明文:

説明の参照 (URL、PDF等): 参照

非登録項目の有無: ☐ 非登録項目にする

コピー不可の有無: ☐ フォローアップ時コピー不可にする

データ日付管理の有無: ☐ データ日付管理をする

データ型: 文字列型

最大文字数: 幅: 最小文字数: 行数:

患者ID: ☐

施設症例ID: ☐ 施設情報:

入力制限: ☐ 必須 ☐ 半角 ☐ 全角 ☐ カナ ☐ 英字 ☐ 数字

正規表現:

登録

11. 登録をクリックします。

グループ削除 項目追加 登録

入力項目グループ名称	新しい入力項目グループ	グループの初期表示	◎ 表示する ○ 表示しない
*フォローアップ・サブ画面	◎ しない ○ する	日付・回数の管理	<input type="checkbox"/> 日付・回数管理をする
フォローアップ・サブ画面ボタンラベル	子画面を開く	フォローアップ日付	◎ 日付 ○ 日付時刻
グループの背景色	#fff99 例:	グループ名称の文字色	#000000 例:
項目の背景色	#3171c 例:	項目名称の文字色	#000000 例:

項番	項目名	データ型	入力規則	並び順	表示	削除	編集
1	入院日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集
2	退院日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集
3	在院日数	文字列型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集

戻る

在院日数を算出する

タブ設定済みのグループに「入院日」、「退院日」、
「在院日数」項目がある場合は14.へ

12. タブ設定をクリックします。

症例入力登録画面 症例入力画面の作成を行います。
1. 最初にグループ作成で入力項目を作成します。
2. その後、タブ設定でレイアウトを定義します。

グループ作成 **タブ設定** リスト表示設定 画面削除

*画面名称	新しい症例入力画面
画面説明	
*SS-MIX2データ取得名	SS-MIX2データ取得
検索用タグ (,で区切って入力)	
検索結果リスト表示項目	
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 作成中 <input type="radio"/> 作成済 <input type="radio"/> 運用中 <input type="radio"/> 運用停止中

自動計算項目 関連項目チェック 匿名化項目 重複警告項目 SS-MIX2連携項目 適用

戻る

13. タブ追加をクリックして、「入院日」、「退院日」、
「在院日数」項目があるグループをタブ登録します。

タブ一覧画面 タブの登録、修正、削除、及び表示順設定をします。

症例入力画面名称	新しい症例入力画面
----------	-----------

タブ未登録

戻る

症例入力画面名称 新しい症例入力画面

プレビュー タブ追加 **登録**

項番	タブ名	所属するグループ	コメント	並び順	削除	編集
1	在院日数	新しい入力項目グループ	タブ1	▲ ▼	削除	編集

戻る

在院日数を算出する

14. 自動計算項目をクリックします。

◎作成中
-作成済
-運用中
-運用停止中

※ 未使用グループ ※

新しい入力項目グループ
-入院日
-退院日
-在院日数

編集

症例入力登録画面 症例入力画面の作成を行います。
1. 最初にグループ作成で入力項目を作成します。
2. その後、タブ設定でレイアウトを定義します。

グループ作成
タブ設定
リスト表示設定
画面削除

*画面名称	新しい症例入力画面
画面説明	
*SS-MIX2データ取得名	SS-MIX2データ取得
検索用タグ (,で区切って入力)	
検索結果リスト表示項目	
ステータス	◎作成中 ○作成済 ○運用中 ○運用停止中

自動計算項目
関連項目チェック
匿名化項目
重複警告項目
SS-MIX2連携項目
適用

戻る

15. カスタム演算追加をクリックします。

自動計算項目管理画面 症例入力画面の項目に対して自動計算の式を割り当てます。

カスタム演算追加

基本演算追加

戻る

在院日数を算出する

16. 各入力項目を入力・選択します。

名称 : 在院日数計算
 算出結果項目 : 在院日数
 タイミング : 自動
 計算結果編集の有無 : チェックを入れます

17. 対象項目から「入院日」と「退院日」を選択して、それぞれ追加をクリックします。

18. $\text{args}[0]$ = 「入院日」、 $\text{args}[1]$ = 「退院日」となるように並び順を変更します。

カスタム演算設定画面 症例入力画面の項目に対してJavaScriptのカスタム演算の設定を行います。

*名称	在院日数計算
*算出結果項目	在院日数
*タイミング	自動
計算結果編集の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 編集可能にする

演算式

チェック

対象項目	入院日	追加
------	-----	----

変数	対象項目	並び順	
args[0]	入院日	▲ ▼	削除
args[1]	退院日	▲ ▼	削除

登録

在院日数を算出する

19. 下記のコード(赤字)を演算式へ入力します。

```
//入力項目は入院日args[0], 退院日args[1]とする
//入退院日は日付型のYYYYMMDD, YYYY年MM月DD日とする
//出力項目は文字列型または単位付き数値型とする
```

```
//入院日args[0],退院日args[1]を文字列型にする
args[0]=String(args[0]);
args[1]=String(args[1]);
```

```
//入院日と退院日が8桁の場合、項目「入院日」「退院日」から日付を変数に格納する
//入院日と退院日が8桁以外の場合、NULL(空文字)を出力する
if(args[0].length==8 && args[1].length==8){
  //入院日をYYYY, MM, DDに分解
  var NyuinYear = args[0].substr(0,4);
  var NyuinMonth = args[0].substr(4,2) - 1; //下記new Date()は、1月は0, 2月は1,...で表すため
  var NyuinDay = args[0].substr(6,2);
```

```
//日付計算するために、new Date()で入院日の日付を取得
var Nyuin = new Date(NyuinYear,NyuinMonth,NyuinDay);
```

カスタム演算設定画面 症例入力画面の項目に対してJavaScriptのカスタム演算の設定を行います。

名称	在院日数計算
算出結果項目	在院日数
タイミング	自動
計算結果編集の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 編集可能にする

演算式

```
//入力項目は入院日args[0], 退院日args[1]とする
//入退院日は日付型のYYYYMMDD, YYYY年MM月DD日とする
//出力項目は文字列型または単位付き数値型とする

//入院日args[0], 退院日args[1]を文字列型にする
args[0]=String(args[0]);
args[1]=String(args[1]);

//入院日と退院日が8桁の場合、項目「入院日」「退院日」から日付を変数に格納する
//入院日と退院日が8桁以外の場合、NULL(空文字)を出力する
if(args[0].length==8 && args[1].length==8){
  //入院日をYYYY, MM, DDに分解
  var NyuinYear = args[0].substr(0,4);
  var NyuinMonth = args[0].substr(4,2) - 1; //下記new Date()は、1月は0, 2月は1,...で表すため
  var NyuinDay = args[0].substr(6,2);

  //日付計算するために、new Date()で入院日の日付を取得
  var Nyuin = new Date(NyuinYear,NyuinMonth,NyuinDay);

  //退院日をYYYY-MM-DDに分解

```

対象項目 入院日 追加

変数	対象項目	並び順	
args[0]	入院日	▲ ▼	削除
args[1]	退院日	▲ ▼	削除

登録

在院日数を算出する

```
//退院日をYYYY, MM, DDに分解
var TaiinYear = args[1].substr(0,4);
var TaiinMonth = args[1].substr(4,2) - 1; //下記new Date()は、1月は0, 2月は1,...で表すため
var TaiinDay = args[1].substr(6,2);

//日付計算するために、new Date()で退院日の日付を取得
var Taiin = new Date(TaiinYear,TaiinMonth,TaiinDay);

//入院日が退院日より後の日付の場合、NULL(空文字)を出力する
//正しく入退院日が設定されている場合、在院日数を算出する (Taiin - Nyuinの単位はミリ秒)
if(Nyuin>Taiin){
    var Ans = "";
}else{
    var Ans = ((Taiin - Nyuin)/(1000*60*60*24))+ 1 + “日”; //単位付き数値型の場合「+ “日”」は入力しない
}
}else{
    var Ans = "";
}

//算出結果を算出結果項目に出力する
return Ans;
```


在院日数を算出する

20. チェックをクリックして、演算式が正しく入力されているかチェックします。

21. 登録をクリックします。

カスタム演算設定画面 症例入力画面の項目に対してJavaScriptのカスタム演算の設定を行います。

*名称	在院日数計算
*算出結果項目	在院日数
*タイミング	自動
計算結果編集の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 編集可能にする

演算式

```
//入力項目は入院日args[0], 退院日args[1]とする
//入退院日は日付型のYYYYMMDD, YYYY年MM月DD日とする
//出力項目は文字列型または単位付き数値型とする

//入院日args[0], 退院日args[1]を文字列型にする
args[0]=String(args[0]);
args[1]=String(args[1]);

//入院日と退院日がe桁の場合、項目「入院日」「退院日」から日付を変数に格納する
//入院日と退院日がe桁以外の場合、NULL(空文字)を出力する
if(args[0].length==8 && args[1].length==8){
  //入院日をYYYY, MM, DDに分解
  var MyuinYear = args[0].substr(0,4);
  var MyuinMonth = args[0].substr(4,2) - 1; //下記new Date()は、1月は0, 2月は1,...
  //で表すため
  var MyuinDay = args[0].substr(6,2);

  ///日付計算するために、new Date()で入院日の日付を取得
  var Myuin = new Date(MyuinYear, MyuinMonth, MyuinDay);

  //退院日をYYYY, MM, DDに分解
```

チェック

対象項目 入院日 追加

変数	対象項目	並び順	
args[0]	入院日	▲ ▼	削除
args[1]	退院日	▲ ▼	削除

登録

22. カスタム演算が登録されていることを確認して、戻るをクリックします。

自動計算項目管理画面 症例入力画面の項目に対して自動計算の式を割り当てます。

No.	種別	タイミング	名称	計算順序		
1	カスタム演算	自動	在院日数計算	▲ ▼	修正	削除

戻る

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

入力項目「誕生日」と「検査日」を日付型で作成します。
出力項目「年齢」を文字列型で作成します。

既にグループが登録されている場合は2.へ

1. グループ作成をクリックします。

◎作成中
→作成済
→運用中
→運用停止中

症例入力登録画面 症例入力画面の作成を行います。
1. 最初にグループ作成で入力項目を作成します。
2. その後、タブ設定でレイアウトを定義します。

グループ作成 タブ設定 リスト表示設定 画面削除

*画面名称	新しい症例入力画面
画面説明	
*SS-MIX2データ取得名	SS-MIX2データ取得
検索用タグ (、で区切って入力)	
検索結果リスト表示項目	
ステータス	◎作成中 ○作成済 ○運用中 ○運用停止中

自動計算項目 関連項目チェック 匿名化項目 重複警告項目 SS-MIX2連携項目 適用

戻る

2. 項目追加をクリックします。

入力項目グループ作成・編集画面 症例入力画面に設定する入力項目グループを作成します。

症例入力画面名称 新しい症例入力画面

グループ削除 項目追加 登録

*入力項目グループ名称	新しい入力項目グループ	グループの初期表示	◎表示する ○表示しない
*フォローアップ・サブ画面	◎しない ○する	日付・回数の管理	□日付・回数管理をする
フォローアップ・サブ画面ボタンラベル	子画面を開く	フォローアップ日付	◎日付 ○日付時刻
グループの背景色	#ffff99 例: 	グループ名称の文字色	#000000 例:
項目の背景色	#f3f7fc 例: 	項目名称の文字色	#000000 例:

戻る

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

3. 各入力項目を入力して、登録をクリックします。

項目名称 : 誕生日
 データ型 : 日付型
 入力タイプ : 年月日別
 入力範囲 : 年月日
 カレンダー表示 : チェックを入れます
 年指定 : 西暦
 年ラベル表示 : チェックを入れます

4. 登録をクリックします。

5. 項目追加をクリックします。

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

6. 各入力項目を入力して、登録をクリックします。

項目名称 : 検査日
 データ型 : 日付型
 入力タイプ : 年月日別
 入力範囲 : 年月日
 カレンダー表示 : チェックを入れます
 年指定 : 西暦
 年ラベル表示 : チェックを入れます

7. 登録をクリックします。

入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*項目名称 検査日

画面表示名

*項目ID item002

説明文

説明の参照 (URL、PDF等) 参照

非登録項目の有無 ☐ 非登録項目にする

コピー不可の有無 ☐ フォローアップ時コピー不可にする

データ日付管理の有無 ☐ データ日付管理をする

データ型 日付型

入力タイプ 年月日別 入力範囲 年月日

カレンダー表示 ☒ 年月日をカレンダーから選択する

初期表示 ☐ 現在日時を設定する

年指定 西暦 ☒ 年ラベル表示

入力制限 ☐ 必須 ☐ 過去日禁止 ☐ 未来日禁止 入力範囲: ~ 正規表現

サンプル表示 西暦 年 月 日

登録

戻る

8. 項目追加をクリックします。

グループ削除 項目追加 登録

*入力項目グループ名称 新しい入力項目グループ

*フォローアップ・サブ画面 ☒ しない ☐ する

フォローアップ・サブ画面ボタンラベル 子画面を開く

グループの背景色 #ffff99 例:

項目の背景色 #3f7fc 例:

グループの初期表示 ☒ 表示する ☐ 表示しない

日付・回数管理 ☐ 日付・回数管理をする

フォローアップ日付 ☒ 日付 ☐ 日付時刻

グループ名称の文字色 #000000 例:

項目名称の文字色 #000000 例:

項番	項目名	データ型	入力規則	並び順	表示	削除	編集
1	誕生日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集
2	検査日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集

戻る

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

9. 各入力項目を入力して、登録をクリックします。

項目名称 : 年齢
データ型 : 文字列型

10. 登録をクリックします。

入力項目グループ名称	新しい入力項目グループ	
*項目名称	年齢	
画面表示名		
*項目ID	Item003	
説明文		
説明の参照 (URL, PDF等)		
非登録項目の有無	<input type="checkbox"/> 非登録項目にする	
コピー不可の有無	<input type="checkbox"/> フォローアップ時コピー不可にする	
データ日付管理の有無	<input type="checkbox"/> データ日付管理をする	
データ型	文字列型	
最大文字数		最小文字数
幅		行数
患者ID	<input type="checkbox"/>	
施設症例ID	<input type="checkbox"/>	
施設情報		
入力制限	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 半角 <input type="checkbox"/> 全角 <input type="checkbox"/> カナ <input type="checkbox"/> 英字 <input type="checkbox"/> 数字 正規表現	

登録

11. 登録をクリックします。

グループ削除 項目追加 登録

*入力項目グループ名称	新しい入力項目グループ	グループの初期表示	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない
*フォローアップ・サブ画面	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する	日付・回数の管理	<input type="checkbox"/> 日付・回数管理をする
フォローアップ・サブ画面ボタンラベル	子画面を開く	フォローアップ日付	<input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 日付時刻
グループの背景色	#fff99 例: 	グループ名称の文字色	#000000 例: ■
項目の背景色	#3f77c 例: 	項目名称の文字色	#000000 例: ■

項番	項目名	データ型	入力規則	並び順	表示	削除	編集
1	誕生日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集
2	検査日	日付型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集
3	年齢	文字列型		▲ ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	項目削除	編集

戻る

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

タブ設定済みのグループに「誕生日」、「検査日」、「年齢」項目がある場合は14.へ

12. タブ設定をクリックします。

◎作成中
-作成済
-運用中
-運用停止中

※未使用グループ※

新しい入力項目グループ
-誕生日
-検査日
-年齢

編集

症例入力登録画面 症例入力画面の作成を行います。
1. 最初にグループ作成で入力項目を作成します。
2. その後、タブ設定でレイアウトを定義します。

グループ作成 タブ設定 リスト表示設定 画面削除

画面名称 新しい症例入力画面

画面説明

SS-MIX2データ取得名 SS-MIX2データ取得

検索用タグ (、で区切って入力)

検索結果リスト表示項目

ステータス ☒作成中 ☐作成済 ☐運用中 ☐運用停止中

自動計算項目 関連項目チェック 匿名化項目 重複警告項目 SS-MIX2連携項目 適用

戻る

13. タブ追加をクリックして、「誕生日」、「検査日」、「年齢」項目があるグループをタブ登録します。

タブ一覧画面 タブの登録、修正、削除、及び表示順設定をします。

症例入力画面名称 新しい症例入力画面

タブ追加

タブ未登録

戻る

タブ一覧画面 タブの登録、修正、削除、及び表示順設定をします。

症例入力画面名称 新しい症例入力画面

プレビュー タブ追加 登録

項番	タブ名	所属するグループ	コメント	並び順	削除	編集
1	年齢算出	新しい入力項目グループ	タブ1	▲ ▼	削除	編集

戻る

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

14. 自動計算項目をクリックします。

◎作成中
→作成済
→運用中
→運用停止中

※未使用グループ※

新しい入力項目グループ
-誕生日
-検査日
-年齢
編集

症例入力登録画面 症例入力画面の作成を行います。
1. 最初にグループ作成で入力項目を作成します。
2. その後、タブ設定でレイアウトを定義します。

グループ作成 タブ設定 リスト表示設定 画面削除

*画面名称	新しい症例入力画面
画面説明	
*SS-MIX2データ取得名	SS-MIX2データ取得
検索用タグ (,で区切って入力)	
検索結果リスト表示項目	
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 作成中 <input type="radio"/> 作成済 <input type="radio"/> 運用中 <input type="radio"/> 運用停止中

自動計算項目 関連項目チェック 匿名化項目 重複警告項目 SS-MIX2連携項目 適用

戻る

15. カスタム演算追加をクリックします。

自動計算項目管理画面 症例入力画面の項目に対して自動計算の式を割り当てます。

カスタム演算追加 基本演算追加

戻る

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

16. 各入力項目を入力・選択します。

名称 : 年齢計算
 算出結果項目 : 年齢
 タイミング : 自動
 計算結果編集の有無 : チェックを入れます

17. 対象項目から「誕生日」と「検査日」を選択して、それぞれ追加をクリックします。

18. $\text{args}[0]$ = 「誕生日」, $\text{args}[1]$ = 「検査日」となるように並び順を変更します。

カスタム演算設定画面 症例入力画面の項目に対してJavaScriptのカスタム演算の設定を行います。

*名称	年齢計算
*算出結果項目	年齢
*タイミング	自動
計算結果編集の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 編集可能にする

演算式

チェック

対象項目	誕生日	追加
------	-----	----

変数	対象項目	並び順	
args[0]	誕生日	▲ ▼	削除
args[1]	検査日	▲ ▼	削除

登録

戻る

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

19. 下記のコード(赤字・青字)を演算式へ入力します。 赤字のみ:〇歳 赤字+青字:〇歳〇ヶ月

```
//入力項目は誕生日args[0], 検査日args[1]とする
//入退院日は日付型のYYYYMMDD, YYYY年MM月DD日とする
//出力項目は文字列型とする
```

```
//誕生日args[0],検査日args[1]を文字列型にする
```

```
args[0]=String(args[0]);
```

```
args[1]=String(args[1]);
```

```
//誕生日と検査日が8桁の場合、項目「誕生日」「検査日」から「〇年〇ヶ月」を算出する
```

```
//誕生日と検査日が8桁以外の場合、NULL(空文字)を出力する
```

```
if(args[0].length==8 && args[1].length==8){
```

```
//入力項目から関数(calcAge, calcMonth)により「〇歳〇ヶ月」を算出する。
```

```
//calcAge()は「〇歳」、calcMonth()は「〇ヶ月」を算出する
```

```
//算出した結果を変数AgeとMonthに代入
```

```
var Age = calcAge(args[0],args[1]);
```

```
var Month = calcMonth(args[0],args[1]);
```

```
//算出結果の判定
```

```
//誕生日が検査日より後の時、NULL(空文字)を出力する
```

```
//(AgeとMonthが負の時)
```

```
if(Age>=0 && Month>=0){
```

```
//変数AgeとMonthのデータ型を数値型から文字列型へ変換
```

```
Age = String(Age);
```

```
Month = String(Month);
```

カスタム演算設定画面 症例入力画面の項目に対してJavaScriptのカスタム演算の設定を行います。

*名称	年齢計算
*算出結果項目	年齢
*タイミング	自動
計算結果編集の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 編集可能にする

演算式

```
//入力項目は誕生日args[0], 検査日args[1]とする
//入退院日は日付型のYYYYMMDD, YYYY年MM月DD日とする
//出力項目は文字列型とする

//誕生日args[0],検査日args[1]を文字列型にする
args[0]=String(args[0]);
args[1]=String(args[1]);

//誕生日と検査日が8桁の場合、項目「誕生日」「検査日」から「〇年〇ヶ月」を算出する
//誕生日と検査日が8桁以外の場合、NULL(空文字)を出力する
if(args[0].length==8 && args[1].length==8){

    //入力項目から関数(calcAge, calcMonth)により「〇歳〇ヶ月」を算出する。
    //calcAge()は「〇歳」、calcMonth()は「〇ヶ月」を算出する
    //算出した結果を変数AgeとMonthに代入
    var Age = calcAge(args[0],args[1]);
    var Month = calcMonth(args[0],args[1]);

    //算出結果の判定
    //誕生日が検査日より後の時、NULL(空文字)を出力する
    // (AgeとMonthが負の時)
    if(Age>=0 && Month>=0){
```

チェック

対象項目	誕生日	追加
------	-----	----

変数	対象項目	並び順	
args[0]	誕生日	▲ ▼	削除
args[1]	検査日	▲ ▼	削除

登録

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

```
//出力項目に算出結果を出力する「〇歳〇ヶ月」
    return Age + "歳" + Month + "ヶ月";

}

}else{
    return "";
}

}

//=====
//「〇歳」算出
//引数「誕生日,検査日」 戻り値「〇歳」
function calcAge(BirthDate, KensaDate) {

    //データ型を数値型にする
    BirthDate = Number(BirthDate);
    KensaDate = Number(KensaDate);

    //(検査日-誕生日)/10000で「〇歳」を算出
    //Math.floorは計算結果の小数点以下を切り捨てる
    return (Math.floor((KensaDate - BirthDate) / 10000));
}
```

```
//=====
//「〇ヶ月」算出
//引数「誕生日,検査日」 戻り値「〇ヶ月」
function calcMonth(BirthDate,KensaDate){

    //変数宣言 誕生日の月日, 検査日の月日
    var MonBirth = 0;
    var MonKensa = 0;
    var DayBirth = 0;
    var DayKensa = 0;

    //変数宣言 戻り値ans 初期値999
    var ans = 999;

    //誕生日または検査日の月, 日を抜き出し
    MonBirth = String(BirthDate);
    MonBirth = MonBirth.substr(4,2);
    MonBirth = Number(MonBirth);

    MonKensa = String(KensaDate);
    MonKensa = MonKensa.substr(4,2);
    MonKensa = Number(MonKensa);

    DayBirth = String(BirthDate);
    DayBirth = DayBirth.substr(6,2);
    DayBirth = Number(DayBirth);

    DayKensa = String(KensaDate);
    DayKensa = DayKensa.substr(6,2);
    DayKensa = Number(DayKensa);
}
```

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

```
//検査日の月 < 誕生日の月かどうか
if(MonKensa < MonBirth){

    //検査日の日 < 誕生日の日かどうか
    if(DayKensa < DayBirth){
        ans = 12 - MonBirth + MonKensa - 1;
    }else{
        ans = 12 - MonBirth + MonKensa;
    }
}else{
}

//検査日の月 = 誕生日の月かどうか
if(MonKensa == MonBirth){

    //検査日の日 < 誕生日の日かどうか
    if(DayKensa < DayBirth){
        ans = 11;
    }else{
        ans = 0;
    }
}else{
}
```

```
//検査日の月 > 誕生日の月かどうか
if(MonKensa > MonBirth){

    //検査日の日 < 誕生日の日かどうか
    if(DayKensa < DayBirth){
        ans = MonKensa - MonBirth - 1;
    }else{
        ans = MonKensa - MonBirth;
    }
}else{
}

return ans;
}
```

誕生日と検査日から検査日の年齢を算出する

20. チェックをクリックして、演算式が正しく入力されているかチェックします。

21. 登録をクリックします。

カスタム演算設定画面 症例入力画面の項目に対してJavaScriptのカスタム演算の設定を行います。

*名称	年齢計算
*算出結果項目	年齢
*タイミング	自動
計算結果編集の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 編集可能にする

演算式

```
//入力項目は誕生日args[0], 検査日args[1]とする
//入退院日は日付型のYYYYMMDD, YYYY年MM月DD日とする
//出力項目は文字列型とする

//誕生日args[0],検査日args[1]を文字列型にする
args[0]=String(args[0]);
args[1]=String(args[1]);

//誕生日と検査日が8桁の場合、項目「誕生日」「検査日」から「〇年〇ヶ月」を算出する
//誕生日と検査日が8桁以外の場合、NULL(空文字)を出力する
if(args[0].length==8 && args[1].length==8){

    //入力項目から関数(calcAge, calcMonth)により「〇歳〇ヶ月」を算出する。
    //calcAge()は「〇歳」、calcMonth()は「〇ヶ月」を算出する
    //算出した結果を変数AgeとMonthに代入
    var Age = calcAge(args[0],args[1]);
    var Month = calcMonth(args[0],args[1]);

    //算出結果の判定
    //誕生日が検査日より後の時、NULL(空文字)を出力する
    // (AgeとMonthが負の時)
```

対象項目 誕生日 追加

チェック

変数	対象項目	並び順	
args[0]	誕生日	▲ ▼	削除
args[1]	検査日	▲ ▼	削除

登録

22. カスタム演算が登録されていることを確認して、戻るをクリックします。

自動計算項目管理画面 症例入力画面の項目に対して自動計算の式を割り当てます。

カスタム演算追加 基本演算追加

No.	種別	タイミング	名称	計算順序		
1	カスタム演算	自動	年齢計算	▲ ▼	修正	削除

戻る